

# 日々あらた

No.14

2019年1月1日発行

編集：会報編集委員会

明けまして おめでとう ごさいます

本年もよろしくお願ひします

高野山、宿坊の旅を巡って

理事 和田 忠義

10月10日・11日と親睦旅行に参加しました。車中、ガイドの説明、また会員の高野山と善光寺と苅萱山の悲哀に満ちた物語の朗読がある中、世界遺産仏都高野山に入りました。現地ガイドにより、金剛峯寺等を拝観。話にユーモアがあり、場を和ませる力はさすがと感じる。宿坊（高野山全体では50位ある）に入り、歌舞を控えた宴会、精進料理には酒とサシミが付く。部屋で盛り上がる。



宿坊での宴会

翌朝6時より霧で幻想的な外気を吸って勤行。荘厳な雰囲気の中、読経を聞きながらご焼香。法話では羽生選手の例で、良き指導者、良き周囲の人々との巡り合いで今日がある。それが“因縁”と言ひ、大切にと教わりました。朝食はゴマ豆腐が付き、大変美味でした。その後は大師御廟拝観。途中壮大な墓所郡（時の権力者の保護を感じる）全てに“コウヤマキ”が供えてあり、緑で長持ちするとの事。その後帰路につきました。



以前より宿坊体験と思う所でしたので、大変良い“旅”でした。

昨今人生百年時代と言われ、元気な高齢者の活躍が期待されています。皆様には生きがいある健康づくりと、働ける事に感謝し、就業交流等には是非参加活動して頂きたいと思ひます。

高野山参拝記念

# 小松市「せせらぎの郷」を訪問して

理事 鈴木 紘一

10月25日・26日の2日間、石川県の小松市シルバー人材センターへの研修に参加させていただきました。総勢19名、車中で理事会を開催。詳しくは、理事会報告をご覧ください。

小松市シルバー人材センター（以下、小松市SC）の事務所ではなく、指定管理を受け、管理・運営している施設「せせらぎの郷」で事業や活動の状況について谷口理事長さんより説明をしていただいた。

小松市の人口は10万8千人を超え、小松市SCの会員数は、1,030人となっていて、さらに会員増をめざしているとのこと。この小松市SCで学んだ感想や特色を挙げると、

まず、会員1,030人のうち男性634人、女性396となっていて、組織の中に「女性委員会」があること。これによって女性の活動の場や活躍できるイベントを企画・運営している点。女性の仕事の需要から須高でも一考できそうか。

次に、契約件数、受託事業4,995件、派遣事業175件だが契約金額は、受託310,776,320円、派遣117,816,312円で、派遣の収益額がかなり大きくなっていること。派遣の業種をみると、最近増えたものに学校35校の用務員、運転業務、スーパーの大型バックヤード等々によるとのこと。人数の確保や業務の希望が増えれば須高でも派遣は期待できる分野になりそうだと思われた。

そして、最大の特色は、説明を受けた会場及びレストランなどの施設群と組織です。市の中山間地活性化拠点施設として造られ、「せせらぎの郷」の指定・管理を任された。事務局の中にせせらぎの郷事業部が独立設置され、活動・企画運営会計を支えている。会員や一般客を呼び込む原動力になっていることがわかりました。

## <29年度せせらぎの郷の実績>

	客数(人)	収入(円)
浴 湯	83,313 (270人/日)	28,010,380 (90,648円/日)
レストラン	18,178 (59人/日)	19,281,940 (62,401円/日)
その他施設	10,217	3,464,125
合 計	111,708	50,756,445

事業収入 50,756千円

指定管理料 25,800千円



ビュッフェせせらぎの郷